

平和新聞

京都版

E-mail: kyo-hei@crest.ocn.ne.jp 編集 京都平和委員会 Tel.075-811-3203 Fax 075-811-3213

大軍拡、戦争国家づくり反対の先頭に京都平和委員会が立とう！ 日本平和大会、いらんちゃフェスタの成功にむけて！



なくそう! 日米軍事同盟・米軍基地
2023年日本平和大会in鹿児島
11/11(土)・12(日)
大軍拡、『戦争国家』づくりストップ! 軍事費を暮らしに回せ
憲法9条活かした平和外交で、非核平和のアジアを
国連憲章守れ! ロシアは侵略中止せよ! 一刻も早い停戦を

「戦争手帳ではなく平和外交を」と訴えたピースパレード⇒5月21日、東京・日野市

秋の取組みにむけて京都の地域、
団体・個人が活発な議論!
京都平和委員会
第1回常任理事会(9月16日)報告

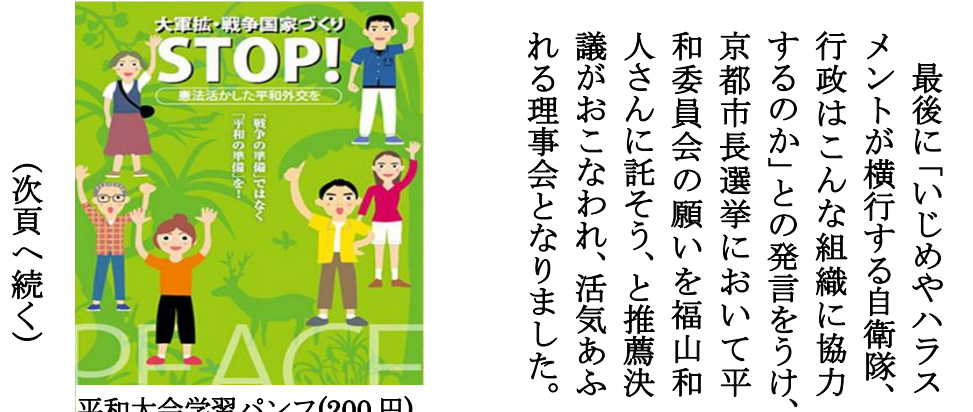
京都において安
保3文書に基づく
大軍拡路線が進行
する中で、京都平
和委員会第1回常
任理事会が開催さ
れ、2023年日
本平和大会や「い
らんちゃフェスタ」
の取組みのスタートダ
ッシュにふさわしい活発な
議論がおこなわれました。

会議の冒頭、6月の定
期総会で副会長に就任し
た早川幸生さんの挨拶が
あり、今後の抱負と原水禁

世界大会に参加した学生
との交流や戦争展の経験
等、この夏の山科の取組み
が報告されました。続いて
片岡理事長より来年おこ
なわれる京都市長選挙に
ついて、「自衛隊への名簿
提供」を止めさせる市長の
実現にむけて、推薦決議と
今後の自衛隊の動きに合
わせた学習会等の提起が
ありました。そして川上事
務局長から秋の取組みの
節目となる2023年平
和大会と「いらんちゃフェ
スタ」の取り組みについて
の基本的方向、安保3文
書にもとづく祝園弾薬庫
の増設が進行する中、京都
平和委員会に対する学習
会の講師要請が多数寄せ
られ、これらの活動を京都
の組織建設につなげ、来年
にむけた会員、平和新聞の
目標が提起されました。

地域の平和運動を
けん引する
平和委員会の活動が、
報告されました!

続いて八幡からは8月
に放映されたNHKの「歴史
探偵」において小畑会長が
出演、原爆の放射能被害に
ついて原爆展を企画した
ことや小畑会長の講演を
「戦中の生きざま」として
冊子化する計画等が紹介
された。さらに京都安保か
らは保育園の上空を飛ぶ
オスプレイ反対の取組み



大軍拡・戦争国家づくり
STOP!
憲法活かした平和外交を
戦争の手帳ではなく
平和の手帳を!

最後に「いじめやハラス
メントが横行する自衛隊、
行政はこんな組織に協力
するのか」との発言をうけ、
京都市長選挙において平
和委員会の願いを福山和
人さんに託そう、と推薦決
議がおこなわれ、活気あふ
れる理事会となりました。

(次頁へ続く)

平和大会学習パンフ(200円)

被爆者と共に核兵器のない

平和で公正な世界を！

清水 郁子(立命館平和の会)

大会は、台風接近のために予定が変更され、以下では開会総会と分科会について報告をします。

原水爆禁止世界大会・長崎

開会総会 8月7日(月)

開会総会では、政府代表・海外代表等のメッセージ紹介に続き、富田宏治国際会議宣言起草委員長の報告、長崎市長、被爆者、政府代表の挨拶があり、その後「核兵器の禁止、核兵器のない世界の実現を核保有国と核依存国でのたたかい」をテーマに報告がありました。

以下では「国際会議宣言」から印象に残った文を紹介いたします

我々は以下のことを要求し、各国の運動と国際的な共同を発展させる。

核兵器の使用とその威嚇は、国連憲章と国際人道法に反するものであり、いかなる状況のもとでも決して許されない。すべての

国がこれを厳格に守ることを強く求める。核兵器によって安全をはかろうとする「核抑止」論はいかなる理由によっても決して正当化し得ず、断固として受け入れなければならない。(以下略)

分科会／「非核平和のアジアと日本」8月8日(火)

二日目の分科会は予定を半日に短縮して実施され、「非核平和のアジアと日本」をテーマに、コラソン・ファブロス氏(フィリピン)、オ・ミジョン氏(韓国)、日本平和委員会の千坂純氏、さらに沖縄県・南西諸島からの報告がありました。

ここで、フィリピンのファブロス氏から目から鱗が落ちる報告が。米軍基地が撤退したはずのフィリピンで米軍基地が増えている、との報告でした。それは、フィリピンの基地を米軍が使用し、新たな基地

がフィリピンの北側、南西諸島側に集中して増えているのです。台湾有事を想定して?、そんなバカなことなの?が事実であることでした。台風のために慌ただしい世界大会参加となりましたが、全体の感想として3点まとめます。

1. 改めて核兵器禁止条約を力に平和運動を進めることが重要であること。唯一の被爆国日本の一日も早い批准、そして「禁止から廃止」への流れで「核兵器のない世界」実現にむけた草の根の運動が大切。
2. 台湾有事は中国の内政問題で、冷静に見れば起こる確率は非常に低いにもかかわらず、それを口実に東アジアを中心に軍備拡張が行われている、日本の軍事費倍増もその一環、これに対するNo!の声を。
3. 最後に、今大会で感じたのは若者のエネルギーです。次代を担う若者を支援し、核兵器のない平和で公正な世界を、人類と地球の未来のために実現する。

(立命館教職組の「世界大会参加報告」より抜粋)

9月公開学習会のお知らせ

7月に発足した立命館大学ピース・ネットワーク!

どなたでも参加できる公開学習会を開催します!!

○テーマ「国際平和ミュージアムの

リニューアル展示の見どころ」

○話題提供者 市井吉興さん(産業社会学部教員/副館長)

○開催日 2023年9月29日(金)

11時35分〜12時25分

○開催形態

対面(末川記念会館第2会議室)
&オンライン

<参加申込方法>

下記 URL より申込

<https://questant.jp/q/23PEACE02>

申込締切 9/28(木)午前中

28日午後に参加 URL を送付します

主催:立命館ピースネットワーク

【京都平和委員会新役員のご挨拶】

副会長 早川幸生さん

京都平和委員会の副会長になった早川幸生です。宜しくお願いします。

私は京都市内で小学校の教員をしていて、平和の取り組みに関わるようになったのは、伏見区の羽東師小学校にいた時に朝鮮通信使を題材にして、教材発掘をしたのが最初でした。その後、地域の関係者や教職員組合とも協力して平和教材の発掘を続けてきました。

京都の岡崎動物園で戦時中に餌が不足して、何とか終戦までもたせたけれど、戦後間もなく餓死や凍死をさせた動物園での悲しい出来事を調べて、紙芝居にしました。この動物園の話は是非、絵本にしたいと思っています。修学院小学校にいた時には、広島で被爆して、京都で亡くなった南方特別留学生のサイド・オマールさんのことについて調査、発掘を行いました。今でも、現地マレーシアの人たちを始め、多くの人たちと交流が続いています。

岸田内閣が押し進めている、大軍拡・43兆円にも及ぶ軍事拡大は見逃すわけにはいきません。教育に携わってきた者として、これだけの大軍拡のお金があるのなら、学校の教育に回せと声を大にして言いたいです。

山科平和を守る会の会長もしています。山科の組織を大きくしなければなりません。そして山科だけでなく、京都平和委員会全体を、戦争か平和かが問われるこの重大な時だからこそ、より大きくするために頑張りたいと思っています。

